

鶴山八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社は、往古から鶴山頂上（現在の津山城跡）に鎮座していたが、慶長8年森忠政公が美作守として美作一国を領して入府し城下町建設にとりかかり、この山を城地に選定、築城するに当たり、先ず当社を一旦、城南硯山（のぞきやま）に遷し、その後慶長13年現在地、山北八子 不知夜山（やまきたやご いざよいやま）を神宝の地と占い、又御真意と符合することから八幡大神を崇敬し御社殿を造営して再遷座された。

その後寛文9年には、森家二代藩主長継公により壮麗極彩色の御社殿を建立し、社領として50石を寄進するなど森・松平両家代々と縁深き神社で藩士からも文武の祖神として崇敬された。

社殿の彩色は創建当時よりは薄れているが、三手先の組み物から軒まわりの華麗さは他に例を見ないもので、江戸時代初期の建築様式として貴重なものである。

昭和31年4月1日拝殿、釣殿、神供所が末社薬祖神社と共に県重要文化財の指定を受け、昭和55年5月31日には御本殿が国指定重要文化財の指定を受けた。

慶長15年・寛永12年・寛文9年・天明7年・文政5年・嘉永3年等の棟札が現存している。

現在は津山地方北部の大産土神として崇敬されている。また、鶴山東山麓宮川沿いに鎮座せる千代稻荷（せんだいいなり）神社は、当神社の摂社であった。



前の写真へ次

基本情報

神社コード 03013

神社名 鶴山八幡宮（ツルヤマハチマンガウ）

通称名 八子の八幡様

旧社格 郷社

鎮座地 〒708-0004 津山市山北159

電話番号 0868-23-1579

FAX番号

駐車場 無

御祭神 譽田別尊, 神功皇后, 玉依姫

御神徳 交通安全, 厄除け, 学業成就, 安産, 縁結び

主な祭典 1月1日：歳旦祭
7月15日：夏祭
10月体育の日：例祭

宮司宅電話 0868-23-1579

URL

e-mail

特記事項 7月15日の夏祭りには、毎年、茅の輪くぐりと奉納子供相撲大会を開催しています。

氏子地域 津山市（山北、城代町、椿高下、北園町（山北分）、北町）

交通アクセス

J R津山駅から北西へ車で20分

神事一覧

夏越祓 祭礼日時：7月15日 文化財指定：無 [神事詳細](#)

神輿行事 祭礼日時：不定 文化財指定：無 [神事詳細](#)

[検索画面に戻る](#)

